

第46号

はあもにいい

第19回通常総会を開催

平成26年6月25日(水)に、東天紅JACK大宮店会議室において第19回通常総会を開催しました。

第1部 通常総会

丸岡会長が議長に選任され、第1号議案「平成25年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに会費の額と納入方法決定の件」について、原案どおり満場一致で可決承認されました。



議長を務める丸岡会長

第2部 講演会

総会に引き続き、「知らなきゃ損する!! 国の中小企業施策の概要」をテーマに、講師の関東経済産業局産業部 中小企業課 振興係長 掛橋 栄希氏より講演が行われました。



講演を行う掛橋氏

講演では、これまでの中小企業・小規模事業者政策の流れについて言及され、これに関連して、よろず支援拠点・専門家派遣・ミラサボ等の事業を行う「中小企業・小規模事業者

ワンストップ総合支援事業」など、現在行われている施策の解説や、制度の説明が行われました。



講演会の風景

第3部 情報交換会

丸岡会長並びに来賓を代表し埼玉県産業技術総合センター 鈴木康之副センター長より挨拶が行われ、続いて、埼玉県中小企業団体中央会 専務理事渡部氏より乾杯挨拶が行われました。情報交換会では、参加者が名刺交換を積極的に行うなど盛会裏のうちに閉会しました。



来賓挨拶をする鈴木副センター長

乾杯の挨拶をする中央会渡部専務



懇親会の様子

産学連携研修会を開催しました

平成26年12月3日(水)、日本工業大学宮代キャンパスにて産学連携研修会を開催しました。

第1部 講演会

講演の前に埼玉県 産業労働部 産業支援課 技術支援担当 小野氏より挨拶をいただきました。

日本工業大学 産学連携起業教育センター長 古閑伸裕氏より「産学連携起業教育センターと産学共同研究事例の紹介」と題して、ご講演いただきました。講演会では産学連携起業教育センターの活動内容として、①産学官連携、②地域連携、③学生の起業・就業支援等を中心に、企業との共同研究・技術開発の受託研究・技術相談・試作品等の加工・測定・分析などの活動をご説明していただきました。



講演中の古閑センター長



講演会の様子

また、センターの特徴として、企業の技術開発への多様なニーズに応えるため、様々な分野の技術相談を受け入れるとともに、幅広い産業交流ネットワークを構築するなど、積極的な産業交流支援活動を展開しているとのことで、産学共同研究事例として、

ラミネート型電池の塑性や、合成ダイヤモンドの塑性加工工具への適用技術の開発など、塑性加工技術に関する取組事例が紹介され、特に焼結ダイヤモンドを用いた工具の耐久性能に関する事例では、多くの参加者の興味を集めていました。

第2部 視察

次に、塑性加工研究室・先端材料技術研究センター・超高電圧研究センター・工業技術博物館を視察しました。大規模な研究設備や貴重な展示品を前に、それぞれの担当者より説明を受け、参加者は熱心に耳を傾け、積極的に質問・意見交換を行いました。

視察した各施設の特徴は以下のとおりです。

①塑性加工研究室

大量生産される自動車や家電品を構成する部品は、その生産性や製品精度の向上に対し限らない要求があり、これに対応した研究は永遠に続くことが予想されています。環境改善、リサイクル性向上などの環境面を考慮した研究が望まれるようになってきました。塑性加工研究室では、このような多様化した要求に対応すべく、新たな加工法の開発研究やマグネシウムなどの環境対応型材料の加工法の開発など、様々な課題の研究を行っています。



塑性加工研究室

②先端材料技術研究センター

日本工業大学の研究拠点及び産学コラボレーション拠点として、大学・企業のニーズに対応した技術支援を行っています。

- 世界的レベルのナノ・マイクロ加工技術
- 宇宙探査技術研究
- NASA(アメリカ航空宇宙局)との宇宙機械材料に関する国際共同研究
- 産学コラボレーションによる企業支援



先端材料技術研究センター

③超高電圧研究センター

国内大学中で最高レベルの機能を誇る、インパルス電圧の実験・研究施設です。

- 高さ21メートルの高電圧ホールなど、1200平方メートルを越す大規模施設。
- 国内教育機関最大の300万ボルトのインパルス電圧発生装置など、校正機関や計測器メーカーの標準室クラスの優れた設備。
- 国内最高のインパルス試験・測定技術は、海外の国家標準と同等レベル。
- 学外のインパルス測定システムへの校正サービスなども実施。



超高電圧研究センター

④工業技術博物館

我が国産業の発展に貢献した工作機械等、250台以上の機械を機種別、製造年代順に展示して一般に

公開しています。工作機械の大部分は動態保存であり、かつての町工場も復元。また、国家プロジェクトで開発された大型ガスタービン等も展示してあり、国鉄で長年活躍した1891(明治24)年英国製の本物のSLも動態保存しています。

- 展示物のうち、国の登録有形文化財に178点、近代化産業遺産に63点が指定。
- 歴史的な工作機械250点以上を、実際に動かせる状態で展示。
- 明治中期の蒸気機関車の定期的な有火運転を実施。
- 常設の展示とは別に、身近なテーマを決めて企画した特別展を開催。
- 優れた活動に対して、1998(平成10)年度に工学教育賞(文部大臣賞)を受賞。



工業技術博物館

第3部 交流懇親会

懇親会には、講師や大学関係者も参加し、名刺交換をはじめ、お互いに情報交換を行うなど盛会裏のうちに終了しました。



交流懇親会の風景

埼玉県先端産業創造プロジェクトを展開しています！

埼玉県では、大学・研究機関等の先進的な研究シーズと企業の優れた技術を融合させ、実用化開発・製品化開発を強力に支援することによって、新たな成長産業を創り出す「先端産業創造プロジェクト」を推進しています。

ナノカーボンや医療イノベーション、ロボットなどの先端分野について、(独)産業技術総合研究所や(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、さらには地域金融機関などとの連携により、本県の先端産業の育成・集積を目指します。

- ◆ 各界の有識者で構成する「先端産業研究サロン」のアドバイスを頂きながら、プロジェクトを推進します。
- ◆ 100億円の「産業振興・雇用機会創出基金」を財源に開発資金の助成などを行います。
- ◆ 県内金融機関などの協力ののもと、資金や用地などの事業化支援を行い、先端産業の育成・集積につなげます。

平成27年度に予定している主な支援策

新技術・製品化開発費補助

実用化・製品化が見込まれる開発への助成

- 対象者** 企業・大学等
補助金額 上限2,000万円(定額:10/10)
対象分野 ナノカーボン、医療イノベーション
 ロボット、新エネルギー
受付期間 4月上旬～5月上旬

ロボット新規参入トライアル開発補助

マーケティング、企画設計、試作、要素技術開発等への助成

- 対象者** 企業
補助金額 上限100万円(定額:10/10)
対象分野 ロボット
受付期間 4月上旬～(予算額に達するまで)

ナノカーボン新素材開発費補助

ナノカーボンを用いた新素材開発への助成

- 対象者** 企業
補助金額 上限50万円(定額:10/10)
対象分野 ナノカーボン
受付期間 4月上旬～(予算額に達するまで)

航空・宇宙産業参入支援事業費補助

参入や事業拡大のための新技術・新製品開発への助成

- 対象者** 埼玉県内中小企業
補助金額 上限2,000万円(補助率:1/2)
対象分野 航空・宇宙
受付期間 4月上旬～5月上旬

ロボット試作品モニタリング調査等 支援事業費補助

実証試験のためのモニタリング調査等への助成

- 対象者** 埼玉県内企業
補助金額 上限300万円(補助率:1/2)
対象分野 ロボット
受付期間 4月上旬～(予算額に達するまで)

平成27年度は、ナノカーボン、医療イノベーション、ロボット、新エネルギー、航空・宇宙の5分野を対象に、実用化・製品化に取り組む企業・大学等の皆様を支援いたします。

※ご案内の内容は平成27年2月時点の予定であり、変更する場合があります。

お問い合わせ

埼玉県産業労働部産業支援課 先端産業担当

TEL 048-830-3737 FAX 048-830-4813 E-mail a3770-08@pref.saitama.lg.jp
 ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0803/>